

身近な疑問・問題をテーマに堂々と発表



「命を奪う大人達」をテーマに発表する最優秀の西脇英輝さん

第25回少年の主張大会を開催

青少年育成町民会議主催の「第25回少年の主張大会」が6月29日、中央公民館で開催されました。

小学生・中学生の順で、身近なごみ問題から福祉問題、家族の絆、幼児虐待をテーマに力強い発表がありました。



「幸せへの道」をテーマに発表する最優秀の田島祥子さん

審査結果は、次のとおりです。

(敬称略)

〔最優秀〕

西脇 英輝 (笠松中三年)

田島 祥子 (笠松中三年)

〔優秀〕

田島 彩奈 (下羽栗小六年)

若園 直志 (下羽栗小六年)

永田 智也 (笠松小六年)

浅野 幸恵 (笠松小六年)

川島 寛之 (松枝小六年)

荒木 由季 (松枝小六年)

服部 真実 (笠松中三年)

江本沙央理 (笠松中三年)

赤塚 麻希 (笠松中三年)

なお、最優秀に選ばれた二人は、

町の代表として岐阜県大会出場者
選考委員会に推薦されました。

親子で学ぼう正しい水難救助法!

下羽栗小学校「親子水難救助教室」

梅雨の晴れ間となった七月二日、下羽栗小学校で羽島郡広域連合消防本部西消防署職員の指導のもと、「親子水難救助教室」が開催されました。

これは、夏休みを前にプールなどで溺

れた場合や、溺れている人を発見したときにあわてず正しく対処できるよう行われたもので、六年生の児童五十二人と保護者二十六人が参加しました。

実際にプールで行われたこの教室では、はじめに、消防署職員や保護者の代表による救助のデモンストラクションが行われ、溺れている人を抱えながらの泳ぎ方や物干し竿、ペットボトルなど、身近な物を使っての救助方法などを学びました。

次に、児童たちが服を着たままプールへ入り、着衣での泳ぎ方および、ペットボトルやビニール袋を使って水に浮く方法などの指導を受けました。

その後、場所を体育館に変え、保護者を対象に心臓マッサージや人工呼吸など心肺蘇生法の指導が行われました。

参加した児童の一人は「水の中だと、服が重たくて動きにくかった。ペットボトルやビニール袋でも体が浮くのにビックリした」と感想を語っていました。



ビニール袋を使って浮く児童たち